

相互提案協働事業 報告書

平成23年 5月18日

（あて先）鎌倉市長

住所 [REDACTED]  
 郵便番号 [REDACTED]  
 団体名 鎌倉市政を考える市民の会  
 代表者氏名 [REDACTED]

平成22年度事業報告会に先立ち、協働事業の実施状況・実施結果について、下記のとおり報告します。

事業名	「WE LOVE 若宮大路」事業
事業概要	若宮大路の「松並木再生プロジェクト」を継続遂行すると共に、歩道や植栽帯の緑化・美化清掃等に活動している多くの市民/市民団体とも、積極的に参加・交流・連携の進化に努め、様々な視点から史跡「若宮大路の景観維持と生活道路の魅力と機能向上を目指し、行政・市民とともに考え、具体的な取組みの検討を行います。この市との協働事業で、若宮大路全体に亘り地域で連携して取り組んでいく仕組みづくりとして「景観協議会」の設立などの提言も検討していく事業への参加です。
市担当課	都市景観課
事業実施期間 (継続中の事業については、継続に○をつける)	継続 開始 平成 22 年 4 月 1 日 ~ 終了 平成 23 年 3 月 31 日
協働の形態	
事業費	事業予算 0円 → 0円 (当初予算 50,000円)

鎌倉市役所  
 平成 23.5.23 受付  
 第 178-3 号

<p>事業目的の達成 (継続中の事業については、現時点で判断する)</p>	<p>&lt;達成できた点&gt;  1、若宮大路全体の景観・美観が格段に改善されてきた  2、合同まち歩き(計4回)による現状認識と優先課題が確認できた  3、松・桜・植え込み・花等及び歩道タイルと保護柵など個別に整理できた  4、クリーン活動などの活動団体及び個々人の美化活動/認識が増えてきた  5、県道R21であるが、県/市/市民の連携・連帯感が密になった  6、2010APEC関連に伴う車道/歩道の手入れ、松の剪定等が実施された  7、松の追加補植10本の実施(計17本となる)</p>
	<p>&lt;達成できなかった点&gt;  1、若宮大路全体にかかわる「景観協議会」の発足に前進はあったが、具体的活動に至らなかった  2、本事業の取り組みに対して既存の活動グループとの連繋が進まなかった  3、PR資料など広報活動が達成できなかった  4、小中学生の参加・見学などの機会が出来たことは良かったが、継続的な活動までには至らなかった</p>
<p>成果・効果</p>	<p>1、本事業に参加でき活動のモチベーションが向上した  2、若宮大路が明るくきれいになったとの評価が多くなった(市民・観光客)  3、桜・松・花に関心が寄せられ、成長を楽しんで散策する人も増えた  4、落書き・ごみ散乱抑止にも貢献できた(減少効果が顕著)  5、事業のパートナーとの協働活動・作業にて参加者との交流も向上した  6、若宮大路の全体を考える「景観協議会」へと繋げる一歩ともなった  7、県藤沢土木事務所及び市担当課も積極的に市民参画に取組み、保全と景観・美化向上に活動参加・助言で貢献した</p>
<p>課題・問題点 (解決・改善の方法についても記入)</p>	<p>1、種々の制約/規制(県道21号線、国の文化史跡、鶴岡八幡宮の段葛、道100選の指定等)があり、必要とされる諸申請手続きなどの事もあり若宮大路全体構想・枠組みが不可欠である  2、「景観協議会」にて今後の取り組み・進め方など大枠/役割分担など方向付けが必要  3、「松のこも巻き」は実行を見合わせた(害虫駆除の対費用効果に因る、但し鎌倉の冬の風物詩のひとつとしての位置付けとの意見もある)</p>
<p>今後の展望</p>	<p>1、「若宮大路の景観維持と生活道路の魅力と機能向上」と、一方で「世界文化遺産候補地を構成する史跡」の総合的な観点から保全・共生など今後の施策と行動計画、役割分担など中長期的な検討・推進が必要  2、次世代の人たちも積極的に参画・継続していけるプランの策定が必要  3、若宮大路の将来像について、一度整理すべき時期でもある</p>

添付資料

- ・事業結果報告書
- ・収支決算書